

牛久：学校周辺に見る自然

第14号 ひたち野みずべ公園（ひたち野うしく小）

2021年6月9日発行

＜ 初夏しよかのみずべ公園 ～ハルジオンに集まる虫たち ＞

みなさん、こんにちは。ひたち野うしく小3、4年生とのみずべ公園。今回は、ハルジオンに集まる虫たちの紹介です。



ハルジオンは北アメリカ原産で、観賞用に持ちこまれたものが野生化し、全国にひろがったといわれています。この花には、チョウやハチ、ハナアブなどいろいろな昆虫がやって来ます。そして、それらをねらって、クモがかくれていることもあります。この日はよく見るヤブキリの幼虫やチョウは見られませんでした。小さなハナバチが蜜を吸っていました。

ハルジオンの蜜を吸う、小さなハナバチ。

もっと大きくてミツバチとまちがえられることもあるシマアシブトハナアブやナミハナアブ、複眼のもようがおもしろいつまグロキンバエ、そして甲虫（こうちゅう）のコアオハナムグリは、花粉やみつをなめていました。コアオハナムグリは毛深くて緑色のものが多く、中には茶色がかかったものや黒っぽいものもありますが、羽のもようなどで同じ種類と分かります。

【理科支援員：宮内】



花粉や蜜をなめるシマアシブトハナアブ(①)とナミハナアブ(②)、つまグロキンバエ(③)、コアオハナムグリ(④)。